

新しい運動エネルギー発展と新ラウンドの東北振興の再構築

遼寧社会科学院副院長

梁啓東

運動エネルギー、位置エネルギーは元々物理学の概念であるが、現在、経済発展の動力問題を反映する一つの概念として経済学の中で使われるようになってきている。経済発展の失速は運動エネルギーの喪失であり、経済発展の鍵は新しいエネルギーの育成にある。東北地域の経済下降の原因は伝統的な運動エネルギーの衰退であり、振興の重要な意義は新エネルギーの育成・発展である。

2013 年以來、「新東北現象」の時代に入り、経済成長に力がなくなり、経済成長が持続的に下降した。経済下降の問題点を分析すると、外在的な要素は、主に国際的・国内的な大きな背景がそうさせている。当然、外的な要因は内的な要因を通じて作用する。東北経済下降の内在的な要素は、主に「二つの集中（体制メカニズムにおける矛盾の集中的な爆発・長期間蓄積された経済構造の問題の集中的な表出：訳者注）」と「三つの衰退（資源的の衰退、構造的な衰退、体制的な衰退：訳者注）」である。

経済下降の状況のもと、現在の経済情勢を弁証法的にみると、問題と困難だけでなく、潜在力や希望もみる必要がある。東北経済の悪いイメージを植えつけたり、矮小化したり、過小評価したり、醜いものとしたりしてはならない。同じように東北の衰退ばかりを謳い続けてはならない。

新運動エネルギーを再構築するために、注目すべき 10 の課題がある。

- (1) 東北振興の目標と位置づけを把握しなければならない
- (2) 新運動エネルギー育成の本質は、科学技術のイノベーションである
- (3) 新運動エネルギー育成の手段は市場である
- (4) 産業の欠点を補う面で努力する
- (5) 民営経済は東北振興の主力群である
- (6) 東北の国有企業改革の中心は中央統括企業改革である
- (7) 製造業は新旧運動エネルギー転換の主戦場である
- (8) 生産能力を取り除くには「囚人のジレンマ」になることを避ける
- (9) ストックをなくす鍵は、低所得者向けの住宅建設に注目することである
- (10) 新運動エネルギー育成の鍵は、ビジネス環境を作り出すことである

[中国語原稿を ERINA にて翻訳]